

ホホバ

頒布会便り



発行
毎月一回
(株)アイリス

ようやく九月に入り、朝夕は少し過ごしやすくなってきたこの季節は、夏のダメージで傷んだ髪が気になりだす時季です。

暑さで、忘れがちになっていった髪のお手入れ。過ごしやすい秋にきちんとしておきましょう。

夏の髪ダメージは 気付かないうちに

暑さでグツタリした身体に、強い日差しと紫外線、汗ばんでベタつく肌など、夏は気になる所が多すぎて、髪の傷みを忘れがちです。

九月に入り気がつく、髪は傷んでパサパサ、という事が多いもの。夏の強い日差しや紫外線等で傷んだ髪は、弾力を失って枝毛や切れ毛

が増え、まとまりづらくなります。この時季にしっかりとお手入れしてキューティクルを整え、艶やかな髪を取り戻しましょう。

髪の傷みは放置すると どんどん悪化する

髪はお肌と違い、自然に回復する事はありません。

一度傷んでしまうと、その部分



の髪は、元通りにはなりませんから、今以上にダメージを広げないためのお手入れが必要です。

傷んで開いてしまったキューティクルをそのままにしておくと、さらに髪の毛のタンパク質がどんどん失われ、パサつきや枝毛・切れ毛の原因に。まずは、キューティクルを整えてダメージの進行を抑え、ツヤやハリを取り戻すお手入れをしましょう。

髪のダメージ 回復のために

ハリのあるツヤ髪を取り戻すには、まず、地肌の血行を良くして、健康な髪の毛の成長を促す事と、傷んだ髪には必要な成分を補給し、修復する事。次ページでご紹介するお手入れをご参考に、どうぞお試しください。

秋のアフターケアで

傷んだ髪もツヤツヤに！

夏の紫外線や強い日差し、摩擦等で傷んだ髪。キューティクルを整えて、ダメージの進行を止め、ツヤとハリのある髪を取り戻しましょう。

摩擦を避け、紫外線ダメージを補修

◆シャンプーはすぎをしつかり

トリートメントでしっかりと補修

傷んだ髪を守り、ダメージの進行を抑える為に、毎日のお手入れを正しく行う事が重要です。

まず、お湯かぬるま湯でたっぷりすすぎ、手に取って軽く泡立てたシャンプーで、頭皮をマッサージする様にして洗髪しましょう。

洗髪後、髪の水気を切ってから、

トリートメントを頭皮や根元の髪を避け、髪の間から毛先につけます。

◆洗髪後は、自然乾燥は×

必ずドライヤーで乾かす

洗髪後は、ドライヤーを当てるより自然乾燥の方が髪が傷まない、と思っている方がいますが、実はそれは間違い。

髪は、濡れている時はキューティ

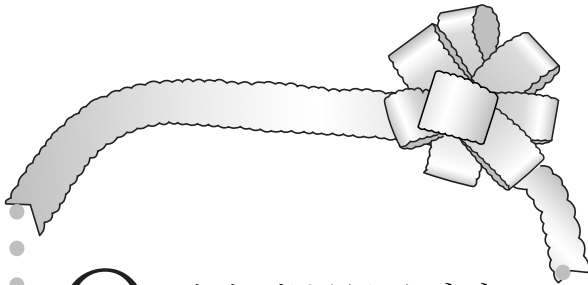


クルが開いたままの状態、傷つきやすくなっています。

ちよつとした摩擦でダメージを受けてしまいますから、夜、生乾きのままで寝てしまうと、枕との摩擦等で、髪が傷む原因に。

ドライヤーで地肌に風を当てるようにして、まず、根元から乾かしましょう。

また、ブローする時はドライヤー



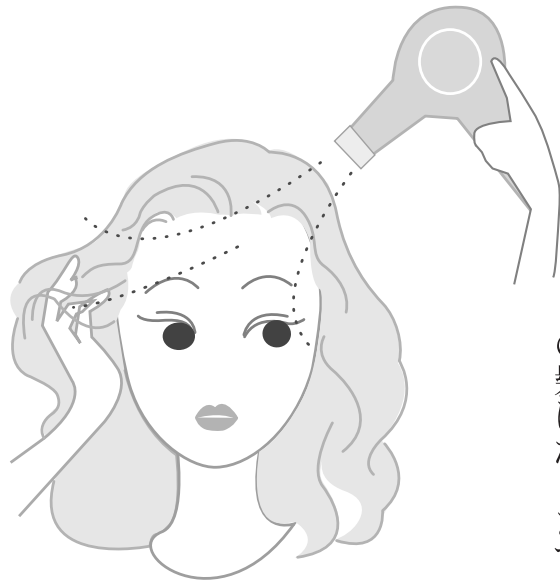
Q ホホバは母からすすめられて使い始め、今はずっと愛用しています。

前から気になっていた、美白ジェル〈雪の華〉を母から貰ったのですが、これはお手入れの時、どのタイミングで使えば良いのでしょうか？



A ご愛用ありがとうございます。

ご質問の雪の華についてですが、洗顔後、アロエローションでお肌を整えたら、雪の華をお顔全体に伸ばし、最後にホホバをつける様にしてください。(UVカットはその後となります)朝晩2回のご使用をおススメします。また、雪の華は部分用ではありませんので、必ずお顔全体に伸ばしてお使いください。



の風を斜め上から当てましょう。キューティクルが揃って、ツヤツヤの髪になります。

◆ヘアカラーにはホホバを

髪や頭皮には、負担のかかるパーマやヘアカラー。髪のだメージが気になりつつも、白髪染め等はないと・・・という方は、ホホバをカラーに混ぜて使ってみてください。傷んだ髪をカラーの刺激から守りつつ、染まり具合は変わらず、きちんと染まります。ホホバを5〜6プッシュ程度、染める前の薬剤に入れ、良く混ぜてから染めてください。

枝毛・切れ毛にホホバを

傷みがひどく、枝毛や切れ毛に悩みの時は、ホホバを洗い流さないトリートメントとしてご利用ください。ホホバを指に取り、毛先をつまむようにして、傷んだ髪に直接つけましょう。

